

## 第10期入学おめでとうございます！

第10期生の皆さま入学おめでとうございます。

早いもので2012年(平成24年)9月にNPO承認を得て翌年4月に第1期生5科6クラス285人でスタートしましたが、10期を迎え780名と約3倍の受講生数になりました。

ここ2年、新型コロナの感染・蔓延防止のため諸行事の開催を自粛しておりましたが、今年は3年ぶりに入学式を開催しました。更に、大学提携講座・共通講座・ふれあい交流祭等も予定しており、出来る限りの感染防止対策をとって、先行き不透明なコロナ禍での開催ができることを願うばかりです。



3年ぶりに開催された第10期生入学式！

当カレッジは昨年設立10周年を迎えましたが、コロナ禍での催事の自粛を余儀なくされて、10期生の皆さまを迎えた本年11月2日(水)豊中市文化芸術センター大ホールにて式典・講演、演奏会等の催しを計画しており、現在実行委員会にて詳細内容を検討しています。

また、2020年(令和元年)7月に「大阪府条例指定NPO」認証、引き続き2021年(令和2年)2月「認定NPO」認証を受け、活動範囲をより地域貢献活動や他団体との協同事業へと広げてきました。



「一日商店街での販売体験」風景

昨年、「子ども夢基金助成活動」として子ども起業体験スクール(わくわくキッズベンチャー)を開校し、地域の商店街や他の団体の協力を得て、全20回の講座と、一日商店街での販売体験を実施し、子ども達の社会勉強講座として成功裏に終わりました。

今年度も引き続き、子ども起業体験スクール「第2回わくわくキッズベンチャー」を5月より開校しています。

我々シニア世代にとっても孫子の世代との関りは元気を貰えます。スタッフとしてもご協力いただける方、是非お申し出ください。



「子ども起業体験スクール」成果発表会(株主総会)と閉講式

当カレッジの理念でもある「高齢者が高齢者を支える事のみならず次世代を担う孫子世代の健全育成」に努め、子ども起業体験事業(キッズベンチャー)等の活動を通して地域コミュニティの活性化を目指しています。

今後とも積極的に地域との連携を目指し、新たな取り組みを進めていきます。健康で、生きがいを持ったシニアとして、楽しみながらこれらの活動に参画していただける方を切望しています。

認定NPO法人 大阪府北部コミュニティカレッジ  
理事長 猪谷義弘



昨年度、「子ども夢基金助成活動」として、本格的に子ども健全育成事業に取り組んで、見えてきたことは、少子高齢化の現代、核家族化により子ども達と大人とのかかわりが希薄になっていることを痛切に感じました。また、子ども達から学ぶことも多くありました。子ども達は昨日できなかったことを今日は難なくできるという可能性をもっています。

ONCCでは「認定NPO法人」認証取得時に、地域貢献事業を他団体との協同で実施するようご指導頂いており、地域貢献事業を協同で出来る団体を模索していました。

一方、ONCCでは毎年固定教室探しに苦慮していましたが、昨年12月に「NPO法人つながるいのち」が運営管理しておられる「北大阪生涯学習ホール」を紹介して頂き、10期の講座「身近な問題を素早く解決」の教室として借用させて頂くと共に、月1回の会議にも使用させて頂くことになりました。

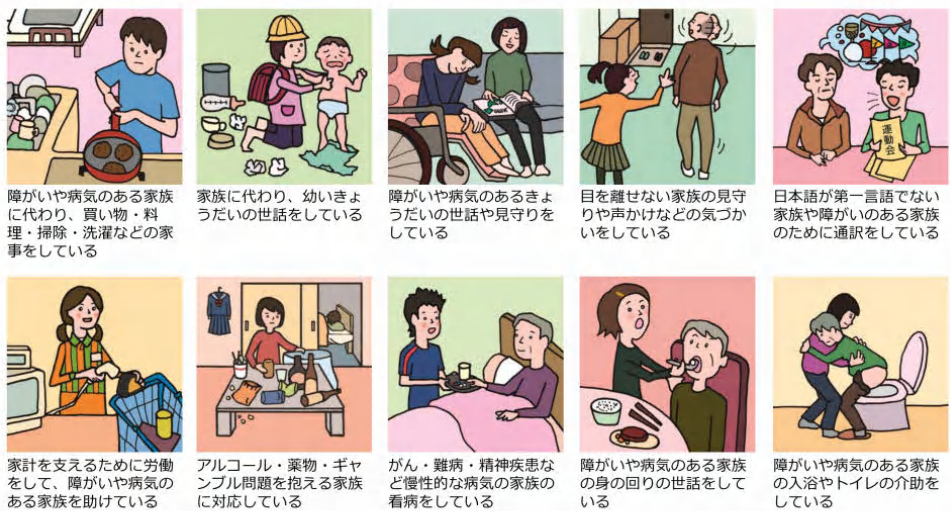
「NPO法人つながるいのち」は、子ども食堂・放課後学習・野菜作り等子ども中心の事業活動をされており、ONCCの目指す協同事業のパートナー、子どもの健全育成に関わる事業として、不登校の子供たちが自由に学べるフリースクールを協同事業としてできないかとの相談を受けました。

我が国の子ども達を取り巻く現状は、2020年には不登校の子どもが19万人、子どもの貧困率13.5%、いじめ51万人、ヤングケアラー小学生6.6%・中学生5.7%・全日制高校生4.1%・大学生10.7%と言われていて、いずれかの原因で学校に通えない子どもが、少子化の下で貴重な子ども達の中に多くいます。

「NPO法人つながるいのち」の施設（北大阪生涯学習ホール）を拠点としてフリースクールを開校し、将来は小・中学校の空き校舎（教室）を借用し、生涯学習に励む高齢者と子ども達が同じフィールドで学ぶことで、孫世代と高齢者に相乗効果があるのではと思っています。

## ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



詳細は、<https://www.mhlw.go.jp/young-carer/>

©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration: Izumi Shiga



「NOCS開校の基本合意協定書」に調印

念頭において寄り添うとともに、子ども達が多世代と繋がり、お互いに尊重して自分らしく生きることを目的とします。また、地域における実践活動組織として、学校で得られない出会いや居場所づくり事業を推進することを目的とし、2022年（令和4年）9月にNOCSの開校目途で計画を進めています。

これらの事業・活動に興味のある方は、ONCC事務局までお問合せください。多く方が賛同頂き活動に参加・協力して頂くことを切望致します。【文：理事長 猪谷義弘】

以上のことを実現させるために、まずはそれぞれの団体から委員会メンバーを派遣して「運営協議会」を設置し、協議していくこととし、2団体で運営協議体をつくり、事業を進めていきます。運営協議会の名称は、「北大阪コミュニティスクール【略称 NOCS（ノック:North Osaka Community School）】運営協議会」とします。

協議会の活動目的は、「地方自治体の教育委員会と連携しながら、不登校の児童生徒を支援し、学校復帰を





## アクティブシニアをめざす科（大阪府シルバーアドバイザー養成講座） 豊中教室

～ キャリアを生かして地域で共生 ～ 【担当CA： 高山アケミ、吉水希代子】



2019年春以来、コロナ感染予防での授業に対応してきました。当初はマスク着用、手指消毒になかなか慣れず、授業前後に否応なく口うるさく言わなければなりませんでした。皆さんには嫌な思いをさせたと思います。しかし、コロナ3年目ともなると体温の測定、手指消毒、マスク着用、黙食など自ら協力いただいて助かります。

教室の対応としては一人置きに座る、授業後の机の消毒、グループワークでも密にならない様に座る等々です。

名札に関しても、首からかけるだけでなく机の上にも名札を作っています。毎回席を変えるので自分の席を自分で探してもらっています。配布物も前もって組み合わせ、席に置いています。

能勢街道の街歩きや校外学習等は、ガイドさんの話を聞かないといけいないので、若干密にはなりますがガイドさんの話を耳を傾けるので、そんなにおしゃべりもせずすんでいます。【文：CA 吉水希代子】

## 水彩科 吹田教室

～ 初歩から上級者まで楽しく学べます ～ 【担当CA： 廣田信治】

水彩科では、下記の感染予防対策を実施し、クラスを運営しています。

- ① 教室入室時の検温と手指の消毒を実施しています。
- ② 教室内の開閉可能な窓、扉を全て開けるとともに、換気装置を使用し、十分な換気を図っています。
- ③ 3人掛けの机を一人で使用し、受講生同士の距離を確保しています。

また、和気あいあいとした雰囲気の中においても、受講生お一人おひとりがマスク着用等、感染予防に努めてくださり、現在まで問題無く講座を開講できております。

今後も安全、快適で楽しい講座を継続するために、運営側としての感染予防対策を実施するとともに、受講生の皆様にも、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。【文：CA 廣田信治】



## 美術アドバンス科 高槻教室

～ 個性の再発見 ～ 【担当CA： 中野保子】



10時から30分程、その日のテーマに沿って土方先生から講義があります。

その後 各自絵を描きます。油絵、パステル、水彩画等何でも自由です。

その後 先生が添削に回られます。その時間が楽しみであり、ドキドキ感も伴います。

皆さん、上手です。さすがです。先生の一筆が入ったら余計に素晴らしい絵になっていきます。絵心のないCAでもわかります。

熱心に楽しみながら続けて頂きたいと思います。【文：CA 中野保子】



## 身近な問題を素早く解決 豊中教室

～ 不安や心配を安心に変える ～ 【担当CA： 吉岡英機、岩田美弥子】

この記事が活字になる頃、コロナの様子はいかがでしょうか？

「第七波が到来し、またまた、まんぼうの日々が到来」か、それとも、「五類扱いとし、共存の日々を選択しているのか？」。

私達の講座もコロナの影響を受け、色々と制約を受けています。

高齢者住宅=老人ホームの見学。「大人数でお越しになるのは謝絶！」このため教室で施設紹介の映像を見ることに。

大阪地裁の見学ツアーも、目下停止中。まあ、ここの訪問は来年の予定やし、秋風の吹くまでほっておくかと、様子見を決めています。





何にしても、一番心配なのが「緊急事態」。もしこの事態となれば、休講期間はともかく、再開後の講義のやりくり等「どないしたらえーんや？」とドキドキです。ただ有難いことに、我々には教務部の強い味方がおられ、沈没する前に救難していただけます。

先の読みにくいコロナ禍の教室運営ですが、過剰に恐れず、また みくびることなく臨んで行きたいと思っています。

【文 :CA 吉岡英機、岩田美弥子】

## 醸造の世界を楽しむ科 豊中教室

～ 醸造・発酵を学び、日々の食卓を豊かに ～ 【担当CA : 山岡美之、野田則子】

昨年度はコロナ感染拡大のなか、休校のリスクを抱えながら開校スタートしました。案の定、一か月で休校、2か月後に再開するもまた、2か月の休校と講座の組み換え、教室確保、受講生との連携等走り回った記憶があります。幸い、先生方、受講生の皆さまの全面的なご協力により乗り切れたことが思い出されます。



今年はそういう意味では平穏な状況にあります。ただ、まだまだ工場見学等が全面解禁とはいかず、また解禁されたところも人数制限等の制約は残っており、見学、実習を楽しみにされている受講生の皆さんには少し、ストレスが溜まっているのではと思います。

今後、可能な限り、昨年、中止になった見学を含め、スケジュールへの組み込みを図りたいと考えております。

そんな中、校外学習で灘の酒造巡りに行ってまいりました。

午前中雨の予想に対して当日は晴れ、過ごしやすい朝になりました。(日頃の皆さんの行い?) 昨年は、試飲はありませんでしたが、今年は、試飲あり、菊正宗記念館の後藤名誉館長の名調子の説明に皆さん聞き入っておられました。【文 :CA 山岡美之】

## 生演奏で楽しむ音楽科 池田教室

～ 心豊かなひとときを ～ 【担当CA : 中村りう子、奥野初美】

午前の講義は、プロのオペラ歌手、ピアニスト、バイオリニスト、オーケストラ等多くの楽器の生演奏を聴き、その曲の背景や歴史を学んでいます。

日常の喧騒から離れ、至福のひとときを週1回過ごす日々です。

受講生からの「今日のひとこと」を抜粋します。

- ① ブラボー 最高の感激
- ② 目の前で生演奏を聴いて迫力を感じました。
- ③ 作曲家についてのその一生と特徴を聞き、より理解を深めました。



午後の授業は、活動内容を皆さんで検討しクラスの親睦を深めたいと思っています。

コロナ禍のなか制約が多く不自由な活動

が続いてますが、マスクを外し皆さんの笑顔が早く見れたらと願っています。

アクティブシニア講師の新崎国広先生(社会福祉士)の講話で「お節介」とは「節度ある仲立」と聞きました。CA未熟ながら、この言葉を実践していけたらと思っています。【文 :CA 中村りう子、奥野初美】



## いきいきボイストレーニング 池田教室

～ 楽しく歌ってアンチエイジング ～ 【担当CA : 渡辺まり子、藤原清子】



「歌が上手になりたい」「声をよく出るようにしたい」「誤嚥性肺炎を防ぎたい」など受講生の動機はさまざまです。今年度新設の講座なので、吉田寛子先生は毎回受講生の要望も聞きながら授業を進められています。

今はストレッチで身体をほぐした後、ボイストレーニングの基礎となる正しい姿勢や腹式呼吸、顔のトレーニング(口角を上げる)を学び、発声練習、活舌の練習などを行っています。

先生の説明はわかりやすく、明るく楽しい雰囲気です。最後は「知床旅情」「上を向いて歩こう」などみんながよく知っている歌をピアノに合わせて歌っています。





トレーニングの効果があって、回を重ねるごとに歌声は大きくなってきました。学んだことを家でも繰り返し練習される方も少なくないです。

2学期からは歌唱の基礎も学んでいきます。期待が膨らみます。

マスクなしで大きな声で歌える日が早く来ると良いですね。【文 :CA 渡辺まり子】

### ぶらっと散策3 吹田教室

～ 新しい発見と北摂歩き ～ 【担当CA： 神谷和男、伊藤康太、宮川摂子】

ひょんなことから、10期の「ぶらっと散策3」のCAを務めさせて頂いています。

受講生の時には気づかなかったものが、見えるようになりました。その日の授業が始まってから終わるまで、無事に終了することが、受講生とCAの力によることをしみじみ感じています。



先日、伊丹の散策の一口メモに、「CAからガイドさんに対して、お礼の言葉がなかった」との意見がありました。反省しております。まだまだ不慣れな点が多いですが、今まで知らなかった事を経験させてもらって、CAになって良かったと思っています。



コロナ禍でまだまだ大変ですが、「ぶらっと散策3」の皆さんと、楽しく元気に一年間頑張りたいと思います。【文 :CA 神谷和男】

### 関西の城探訪科 茨木教室

～ 武将の夢を現地で実感 ～ 【担当CA： 佐藤敬一、福原 寛、井出暁美】



今年度の関西の城探訪科のクラスも、受講生のコロナに負けない熱い想いと意欲に支えられて無事スタートすることができました。

事前の検温・消毒・マスク着用・室内の換気や座席のレイアウト等に注意を払いつつ、まず「学ぶ」ことに集中し、さらに現地探訪では、各自の体調に注意して「目的地」を目指します。

汗を流して到着した城跡で、空気と光の自然の大きなパワーをもらうことができました。

何かと窮屈さを感じる日々の生活で、時には自分自身の体と気を発散させる機会が必要です。新しい仲間と共に、歴史を学び自然を感じつつ知的好奇心を満足させる。自らの想像力を膨らませて新しい喜びを見つけてほしいと願っています。【文 :CA 福原 寛】



### 特別年度制講座 争乱の古代史 豊中教室

～ 古代のロマンを楽しく学びます ～ 【担当CA： 小山哲夫】

私たちのクラスは、受講生は23名です。男性19名、女性は4名です。

自然災害やコロナ感染状況等、緊急時の連絡に必要な連絡網として、3班編成にしました。

カリキュラムは午前の講義が主で、午後の活動は年に数回しかありませんが、それぞれの班で、趣味を広げることや仲間づくりを念頭に置いた活動を、自主的に行っていただきたいと考えています。

これからも受講生の皆さんの意見をお聞きして、楽しい雰囲気ของクラスになるよう心がけようと思っています。

講師は、若井敏明先生、狩野直敏先生、鈴木明子先生です。

古代の日本は決して和やかな時代ではなく、し烈を極めていたようです。

卑弥呼から平安時代の幕開けまでを学びます。

マスクの着用の徹底、検温、手指消毒、換気等、コロナ感染対策に細心の注意を払って授業を行いたいと思っています。

【文 :CA 小山哲夫】





**特別年度制講座 激動の幕末・明治維新史 茨木教室**  
 ～ 激動の時代を学ぶ ～ 【担当CA： 佐藤敬一、中野保子】

新学期が始まり、既に5回の講義が終わりました。カリキュラムはシンプルです。



4月から中村先生の講義が16回続き、11月から原田先生の講義が8回続きます。

運営方針1、受講生の皆さんが楽しく受講できる環境を整える。

2、自主活動(班活動)は、出来るだけ身体を動かすことを推奨する。

※講義の始まりと終わりには、クラス代表者の号令で先生に挨拶を行います。

1.受講生の皆様が、楽しく受講できる条件は、皆様の積極性と先生の講義内容、話し方等、双方がうまく繋がることです。中村先生は授業中でも、質問があれば、手を挙げて下さいと、温情溢れるお言葉を示されておられます。

講義は先生の研究者としての知識が存分に発揮され、ぐいぐい引き込まれます。

先生は、歴史上の事件は「時系列を考慮して判断すること」を特に強調されておられます。主題の解説中には関連事例が、速やかに出てきて驚きます。

先生は時々ジョークを挟まれ、クラスは笑いの渦に巻き込まれる事もあります。

とても和気あいあいとした、明るく楽しい教室になっています。

2.自主活動に関しては、CAの探訪系の経験上から、受講生の皆様方には可能な限り外へ出て体を動かし、身体機能を向上させて頂きたいと願っております。

※ コロナ感染と、事故には十分に気を付け、皆様と一緒に一年間頑張ります。【文：CA 佐藤敬一】

**特別短期講座 ミュージアムへ行こう 豊中教室**  
 ～ アートを見て感じて ～ 【担当CA： 岸本佳奈子、廣瀬雅人】

当科は訪問予定のミュージアムの学芸員に、今開催されている展覧会の内容・見どころの出張講義を依頼し、次週に美術館に鑑賞しに行くのを基本としています。



教室の講義でも現地に赴いても、検温と消毒液は必ず持参・実行しています。

講義時の教室はどこかの扉は開放し休憩時は他方の扉をも開放します。

美術館訪問時は必ず館備えの検温器と消毒液は有りますが、受講生が45名と大人数ですので訪問先のコロナ対策に則り、注意を払いながらクラス運営をしていきたいと考えています。【文：CA 廣瀬雅人】



**特別短期講座 わくわくドキドキ楽しいアウトドア科 吹田教室**  
 ～ アクティブスポーツで仲間とエンジョイ ～ 【担当CA： 立岡 武、松本康子】



アウトドア科は名前の通り、室内講座もありますが野外活動が中心となっています。

活動日も平日であり空いているためか、コロナ禍ということを忘れ行動している時があります。

安全安心を基本に、心身の健康保持・促進に努めることが前提にはなりますが、楽しく受講生の皆さんと行動できるのが一番です。

野外活動は天候に影響され、雨天の場合も想定しますので、コース取りに悩みます。

新型コロナウイルスの影響により運動不足となった方々含め、アウトドア科受講生の誰もが、身近な地域で効果的な運動等を習慣化できるようにクラス運営を進めていきたいと思っています。【文：CA 立岡 武】





## 特別短期講座 フランス文化に親しむ科 東淀川教室

～ 美しく華やかなフランス文化に触れる ～ 【担当CA： 桐澤久子】



ヨーロッパ文化の要の一つであるフランス文化に興味と関心をお持ちの39名の受講生の皆様は、和田先生の解り易いご講義を大変熱心に受講されています。

例えば、我々日本人が敬遠したく成る様な「お墓」が一つの芸術文化として愛され続けているのは流石、芸術の都＝パリを実感致します。

和田先生のご講義は、新たな発見と驚きを与えて頂けるのがとても楽しみです。【文：CA 桐澤久子】



## 特別短期講座 日本伝統芸能の魅力に迫る 茨木教室

～ 古き良き日本の芸能を学ぶ ～ 【担当CA： 黒木武紀】

昨年はコロナに悩まされ、講義も慌ただしく、あっという間に終わり、懇親の場も見送り、不完全燃焼でした。

今期は、受講生の皆様から受講に際しての動機やご要望をお聞きしていますので、コロナ感染防止に留意しつつ出来る限り積極的に取り組んで行きたいと考えています。芸能の実際を観たいとのご要望も有り、6月の講義日の午後に文楽鑑賞に出かける予定です。

講義後の“今日のひと言”の感想やご質問には、講師から次回の講義時に解説いただいて進めています。【文：CA 黒木武紀】



## 特別短期講座 再発見！なんでも見てやろう 現地集合

～ 手軽に楽しみましょう ～ 【担当CA： 池上憲治、石黒洋子、山上田起子、林 純二】



コロナ禍の中講座が始まりましたが、受講生の皆様も予防接種が行き届いているのか幸いにして患者は出ていません。

講座も4、5月と過ぎました。4月は布引ハーブ園です。山桜、大島桜を見ることが出来、ハーブ園のガイドの案内でいい匂いをかぐことが出来ました。心が癒されます。熱心に耳と鼻の活躍でした。

5月は皇室の御寺京都・泉涌寺です。大半の人が初めてで知らない人もいました。

1242年四条天皇を泉涌寺月輪陵へ奉葬されて以後天皇家の御寺に、静かなとても良いところでした。お寺の方の解説で長い歴史も良く解りました。又雲龍院も見どころでした。【文：CA 山上田起子】

## 懐徳堂記念会協力講座 総合文化を学ぶ科 豊中教室

～ いろいろなジャンルを分かりやすく ～ 【担当CA： 山田豊実、田中美千子】

過去2年間は新型コロナの流行により休校期間がありましたが、今年度はそのようなことがないことを願っています。

講師から講義内容に関連する施設や展覧会などの紹介がされることがありますので、少人数で見学に行かれると、親睦も深まり有意義ではないかと思われます。

総合文化を学ぶ科のホームページでは、いろいろなニュースなども「お知らせ」欄に掲載しています。また「ブログ」ページでは、過去の投稿も見ることができます。

見学等に行かれたら、ブログにも投稿してみてください。【文：CA 山田豊実】



## オンライン講座 日本史をにぎわせた女性たち

～ 現代を生きた女性たちと和歌に思いをはせる ～ 【担当CA： 口村泰子】



受講の皆さまはZoom入室練習会やオリエンテーションへも積極的に参加され、4月からの本講座を楽しまれています。

講師の林先生はわかりやすい言葉で歴史・人物・和歌についてお話し下さいます。また人物ゆかりの地を訪ね、解説して下さるロケシーンは大変好評です。

「感染状況に左右されず運営が可能」というのはオンライン講座の謳い文句ではありますが、今後は健康状態などで外出を控えておられる方や遠方にお住まいの方に積極的に受講頂けたらと思っています。【文：CA 口村泰子】

## オンライン講座 世界遺産を旅する科

～ いま、世界に遺すために知っておきたい、見えておきたい ～ 【担当CA：千種里子】

世界遺産アカデミーのマイスター 中村大輔先生による「世界遺産を旅する科」が4月より予定通り開講いたしました。初CAで準備期間や練習会を何度も重ねましたが、戸惑いながらスタッフの皆様に支えていただいたのスタートとなりました。

コロナ禍で中々海外旅行に行けないこの時期に、「世界遺産」についての基礎知識や定義・登録基準、そして各遺産の概要・課題等を学び、自由に旅行出来る時に活かしたいと思っている熱い思いの受講生の皆様です。

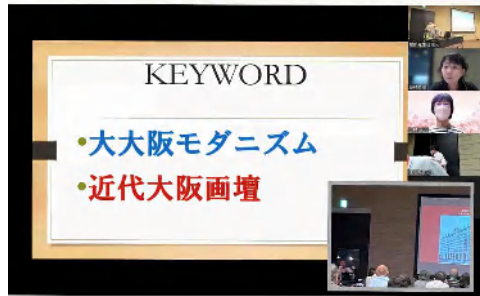
ご自宅にて視聴していただいている方や、海外にいらっしゃる方、お仕事をお持ちの現職の方々も参加してくださり、オンラインならではの時間的配分(再視聴あり)にて、講座を学んでいただいております。

オンラインならではの良さを沢山の方に知って頂き、より良い講座をお届けしたいと思っております。【文：CA 千種里子】



## オンライン講座 総合文化を学ぶ科ハイブリッド

～ 懐徳堂記念会協力による名物講座がご自宅で楽しめる ～ 【担当CA：藤林香澄】



コロナ禍で始まったオンライン講座も2年目を迎え、今期は新たに名物講座をライブ配信でも楽しんでいただけるハイブリット講座を新設しました。機械音痴には厳しいハードルです。

オンライン講座の運営スタッフで試行錯誤を重ね、何とか開校に辿り着くことができたが、初回講座で音声が課題となりました。リーダーの頑張り、5月31日の2回目の講座では見事にクリアすることが出来、楽しんで頂ける講座になり、ホッと一息。

走り出したばかりのハイブリット講座、反省点をより良い形で皆様に反映できるよう、またより楽しんで頂けるようスタッフ一同力を合わせて取り組んでいきます。

オンライン講座を手軽と感じてもらえる日を目指して!! 【文：CA 藤林 香澄】

～ 公開文化講座の紹介 ～ 2022年6月6日現在

詳細は、右のQRコード、HPの「2022年度公開文化講座」(<https://oncc.jp/2022-koukaikouza-4/>)を参照。



| 講座名                    | 開講期間／講座回数                       | 教室 | 講師                       | 開講日    |
|------------------------|---------------------------------|----|--------------------------|--------|
| ドラマティック日本史             | 2022年6月～2023年3月<br>／全10回        | 茨木 | 現代歌人集会理事長<br>林 和清 氏 他    | 6月20日  |
| 現代語で日本神話を楽しむ<br>(古事記編) | 2022年6月～2023年3月<br>／全15回        | 茨木 | 梅花女子大学教授<br>市瀬 雅之 氏      | 6月 11日 |
| 三国志を楽しむ                | 2022年5月～2023年3月<br>／全10回        | 高槻 | 龍谷大学教授<br>竹内 真彦 氏        | 5月27日  |
| もう一度読み返したい源氏物語         | 2022年6月～2023年3月<br>／全10回(内1回探訪) | 豊中 | 武庫川女子大学名誉教授<br>たつみ 都志 氏  | 6月23日  |
| 日本近代文藝の魅力を探る           | 2022年6月～2023年3月<br>／全10回(内1回探訪) | 豊中 | 関西学院大学文学部名誉教授<br>細川 正義 氏 | 6月13日  |
| 日本語を愉しもう               | 2022年6月～2023年1月<br>／全8回         | 豊中 | 大阪教育大学教授<br>小野 恭靖 氏      | 6月 7日  |

**編集後記：** 10期生の皆さま ご入学おめでとうございます！

今年は、3年ぶりに入学式を開催し、その他の諸行事も計画されています。

編集をしている今、第6波の感染拡大も一段落し、収束に向かいつつあるようです。CAの皆様も教室の運営に苦勞されていますが、油断することなく、引き続き感染防止に努め、一日も早く元の生活を取り戻したいものですね。(浜)

ONCCのホームページ

